

吉野復興大臣福島県訪問ぶら下がり会見録
(平成29年6月17日(土) 12:05～12:10 於) いわき市好間町)

1. 発言要旨

こんにちは。今日は常磐高速道路の4車線化の着工式に出席いたしました。これは、大熊、双葉、両インターの着工式も兼ねております。

この4車線化が完成すれば、まずは帰還困難区域を除いて帰還をしたわけでありますので、その方々の生活の利便性が格段に上がると思います。そして、中間貯蔵施設、この運搬も安全に、そして確実に進むと思います。また、廃炉作業に携わっている方々が今、本当に渋滞をしているわけでありますので、スムーズな通勤が可能になると思います。

そういう意味でも、この常磐道の4車線化、また、両インターの開通というのは、あの浜通りの、我々復興を進める者にとって欠くことのできない大事な幹線道路、このようになろうかと思いますので、安全で一日でも早く完成することを期待するものであります。

以上です。

2. 質疑応答

(問) 式典の中で、双葉町の伊澤町長から復興のメッセージの中で、広野方向の4車線化についての要望があったかと思うんですが、復興庁として、その広野インター方向の4車線化にはどのように取り組んでいく考えでいらっしゃいますか。

(答) 広野まではとりあえず4車線化になり、あとは6か所の付加車線という形でなるわけですが、復興庁としては全面的な4車線化をできるように国交省、そしてNEXCO等々に私は求めている、このように思います。

いろいろな基準があろうかと思いますが、いわゆる人がきちんと帰還して、生業の再生等々が、経済が活発化していけば、その一つの基準、交通量の基準というものはクリアできる、このように考えております。

ありがとうございました。

(以 上)